

世界の社会起業家100人・中国汚染食品

ニュースウィーク 日本版

400円

久間原博
アメリカはこうだ

Newsweek

<http://nwj-web.jp>



世界を変える 社会起業家 100

ノーベル平和賞グラミン銀行に続け
社会貢献で稼ぐビジネスリーダー100人

ERNST & YOUNG
ENTREPRENEUR
OF THE YEAR

2007

7.18

95. Natalie Killassy

ナタリー・カラシー(南アフリカ、障害者)

炭鉱労働で障害を負った人々を雇用するステッチ・ワイス社を96年に共同で起業。炭鉱労働者の作業用品や防具を専門に販売する。

<http://www.stitchwise.co.za>

96. Nick Moon

ニック・ムーン(アフリカ、貧困)

「キックスター」の共同創設者。ケニアをはじめとするアフリカ各国で農業などの実現可能な小規模事業に100~1000ドルを出資し、地域経済での自立を支援する。事業に必要な機材のデザインなども行う。52歳。

<http://www.kickstart.org>



97. Murphy Morobe

マーフィー・モロベ(南アフリカ、地域開発)

ヨハネスブルク・ハウジング社取締役。犯罪の多いヨハネスブルクの中心街で、安全で質の高い住居を賃貸する。すたれたオフィスやホテルを住居として再生させることで、街のイメージ向上をめざす。

<http://www.jhc.co.za>

98. Chris Page

クリス・ページ(ルワンダ、児童)

ルワンダ人アーティストの協力で、「カード・フロム・アフリカ」を04年に設立。リサイクル紙からオリジナルのものがきを作成、販売する。ルワンダの孤児を雇用し支援している。

<http://www.cardsfromafrica.com>

99. Soraya Salti

ソラヤ・サルティ(ヨルダン、教育)

アラブの学生に職や経済に関する講義・体験学習の場を提供する組織「INJAZ」の地区責任者。99年設立。ヨルダンのはかレバノン、エジプトなどの学生計10万人が毎年さまざまなプログラムに参加している。

<http://www.injaz.org.jo>

100. Yuval Wagner

ユバル・ワグナー(イスラエル、障害者)

同国の空軍兵時代にヘリコプターが墜落して四肢麻痺に。99年、障害者をもっと外出しやすくするために「アクセス・イスラエル」を設立。障害者のための情報をネットで提供するほか、彼らの雇用の推進、旅行企画などを行う。42歳。

<http://www.aIsrael.org>

90. Tomoji Yokoishi

横石知二(日本、高齢者)

過疎高齢化が進む徳島県上勝町で、落ち葉を利用して料理に添える「つまもの」を作る「いろどり」を起こした。生産の中心となっているのは70~80歳の高齢の女性たち。彼女たちに生きがいを与え、地域活性化にも貢献。出荷先は全国に広がり、年商は2億円を超え、町の主力産業に成長した。48歳。

<http://www.ioredori.co.jp>

91. Roshaneh Zafar

ロシャネ・ザファル(パキスタン、貧困)

グラミン銀行に影響され、貧しい女性に無担保でマイクロファイナンスを提供するカシュフ財団を設立。少額で入れる生命保険の販売や預金の受け入れも行っている。これまでに少なくとも6万人以上が同財団の恩恵を受けた。

<http://www.kashf.org>

AFRICA & THE MIDDLE EAST

92. Mohamed Abou El Naga

ムハンマド アブル・ナガー

(エジプト、雇用)

「エル・ナフェザ・センター」を設立。首都カイロの古くからある地区で、バナナやハスの葉、福わらなど利用されることのない農産物から紙を作り、アーティストたちの自己表現を支援。同センターは女性や若者に技術を教え、雇用を促進する役目も果たしている。47歳。

<http://www.elnafeza.com>

93. Vinah Ganoo

ヴィナア・ガノー(モーリシャス、貧困・環境)

82年に「フローラ・マーケティング」を設立。貧困に苦しむ地域の人々から熱帯性植物の種を買い取り、30カ国以上に輸出している。残った種は植林に活用する。40歳。

<http://www.flora.mu>

94. Garth Japhet

ガース・ジャフェット(南アフリカ、教育)

テレビ・ラジオ番組を制作するNGO「ソウル・シティ」を設立。ドラマを通じて、子供から大人まで幅広い層にエイズや性的問題、開発課題を訴える。44歳。

<http://www.soulcity.org.za>

84. Pierre Tami

ピエール・タミ(カンボジア、貧困)

94年に妻とともに貧困女性や子供を支援する「ヘーガー」を設立。売春などで生計を立てる貧しい女性に対して職業訓練を行い、自立を支援している。

<http://www.hagarproject.org>

85. Wu Daohong

呉道洪(ウー・タオホン)(中国、環境)

石炭など化石燃料の使用を抑え、二酸化炭素の排出量を減らす産業用製品を開発する「神龍熱能」の会長。同社の製品は、平均してエネルギー使用量を30%削減する。05年の売上高は約10億元に達した。

<http://www.shenwu.com.cn/en>

86. Wu Hao

呉昊(ウー・ハオ)(中国、環境)

水を使わずに小便を処理する環境にやさしいトイレを開発・販売する「藍潔士」を8年前に起業。過去5年間で売り上げを倍増させるなど、業績も伸びている。

<http://www.landwasher.com>

87. Wu Qing

呉青(ウー・チン)(中国、女性)

農村婦人の権利擁護と識字率向上をめざす組織「北京農家女文化発展センター」の代表。96年に農村からの出稼ぎ女性の人権を守る組織「打工妹之家」を、98年に就業技術の習得をめざす技能教育学校を設立した。

<http://www.nongjianv.org>

88. Muhammad Yunus

ムハンマド・ユヌス(バングラデシュ、貧困)

貧困層のためのマイクロファイナンス事業を76年に始め、83年にグラミン銀行を設立。世界の貧困削減に向けた努力を評価され、06年にノーベル平和賞を受賞した。資金融資だけでなく、貧しい主婦に携帯電話を貸与するプロジェクトも行っている。主婦が電話のない村人にその携帯を貸して収入を得る仕組みだ。67歳。

<http://www.grameen-info.org>



89. Zhao Yi

趙翼(チャオ・イー)(中国、農業)

中国農業大学の学生時代から啓蒙書出版など農産物支援に取り組み、06年大学院卒業と同時に茶葉の有機栽培の支援を開始。同年、茶葉の販売と有機レストラン経営を行う「北京更香有機食品有限公司」の総経理として引き抜かれる。24歳。

<http://www.gx-tea.com>